



議会だより

# 玖珠

第158号

2026 5.1



## もくじ

令和8年度玖珠町当初予算	2～3P
予算常任委員会	4P
総務建設農林常任委員会	5P
企画民生教育常任委員会	6P
基地政策特別委員会・議会改革特別委員会	7P
町政を問う 一般質問（8名）	8～15P
シリーズ“ガンバリよるばい”	16P



野菜作りプロジェクト



手作りランタン～お泊り会にて～



ビームライフル体験

玖珠町議会  
公式チャンネルへ  
アクセス

## わたしたちの学校 くす若草小中学校

●発行／大分県玖珠町議会 ●編集／議会広報特別委員会 ●印刷／いづみ印刷株式会社

〒879-4492 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足268-5 TEL 0973-72-1507 HP <https://www.town.kusu.oita.jp>



# 令和8年度玖珠町当初予算

## 一般会計 当初予算額 114億5,100万円

前年度比 7億6,900万円増(7.2%増)

### 今議会のあらまし

3月議会定例会は、2月27日～3月18日までの20日間の会期で開かれました。町長から施政方針の説明があり、3月3日から8人の議員による一般質問が行われ農政・子育て・福祉・教育などについて町の考えをただし、議論が白熱致しました。町提出案件は37件で、人事・条例の改正・補正予算・和解及び損害賠償の決定・令和8年度一般・特別・企業会計予算などを審議し、原案の通り可決されました。

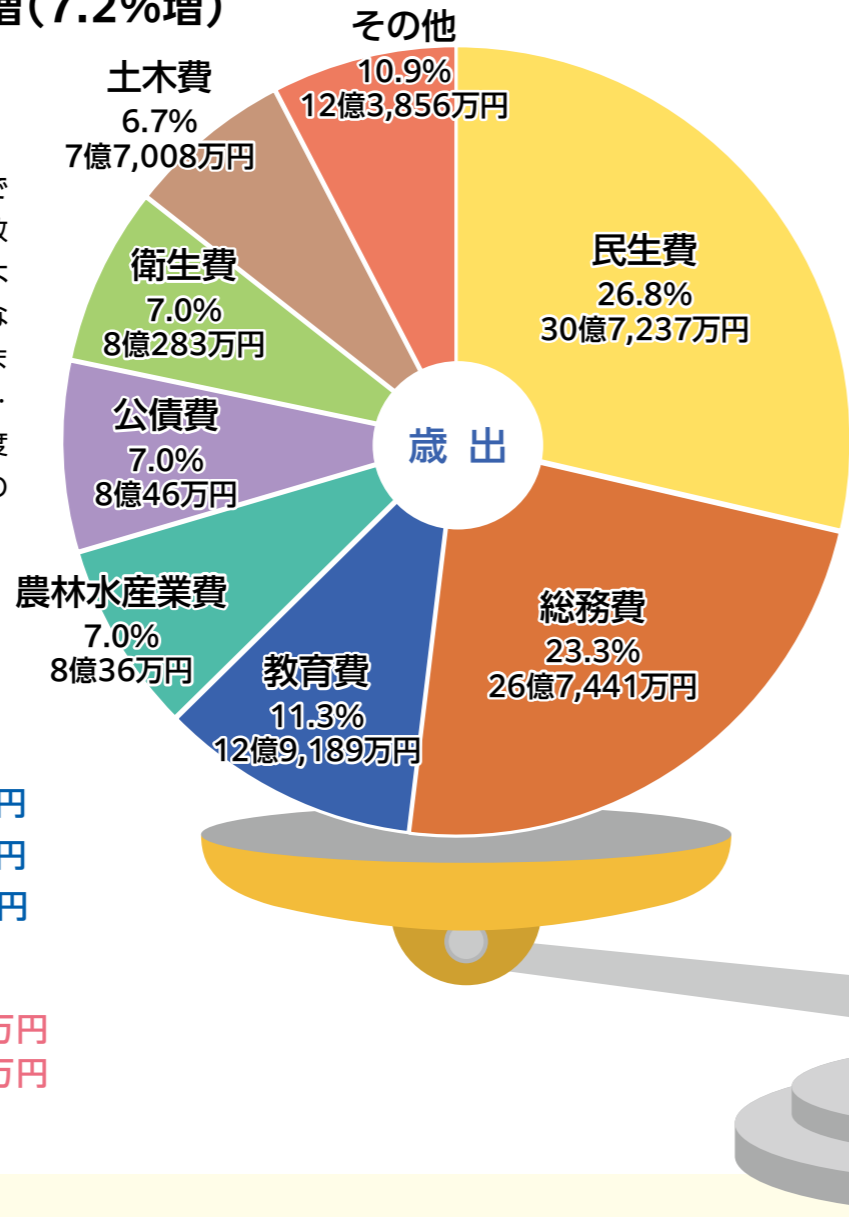
### 財政状況の見通し

#### 【財政調整基金残高】

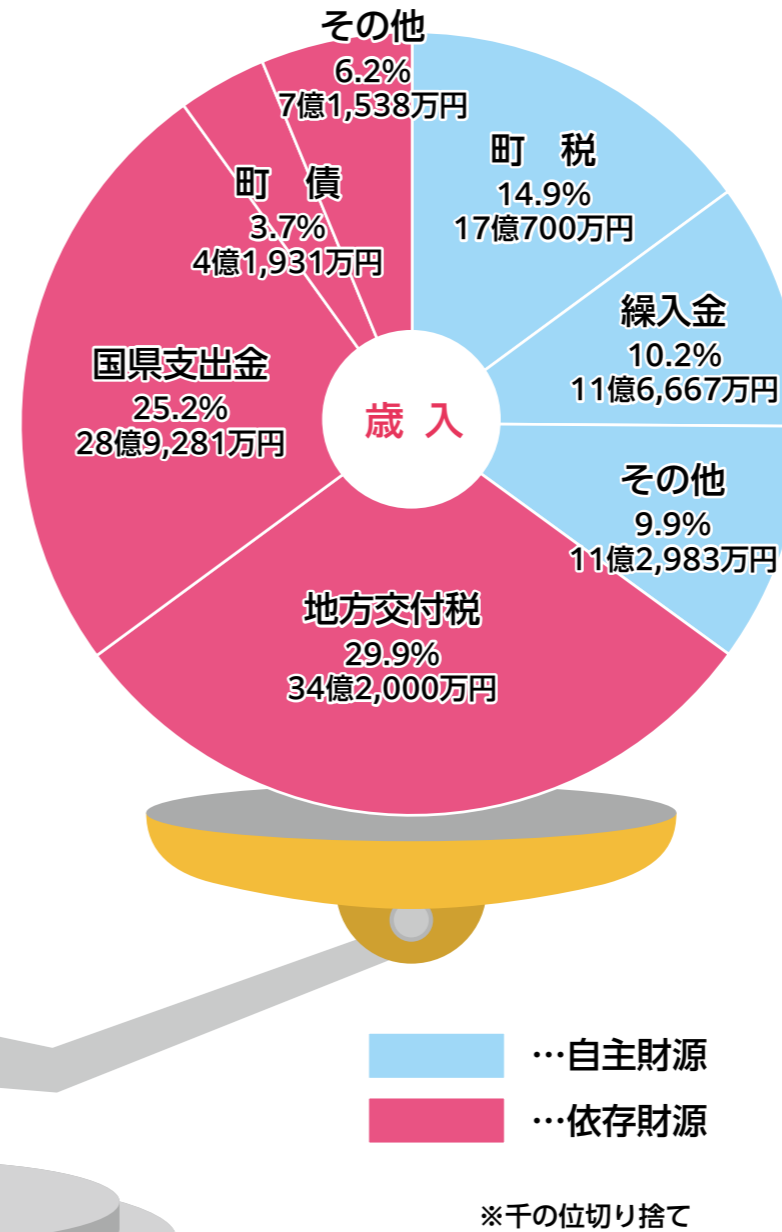
- ・令和6年度末 8億5,000万円
- ・令和7年度末見込 8億5,000万円
- ・令和8年度末見込 6億5,000万円

#### 【町債残高】

- ・令和6年度末 69億3,000万円
- ・令和7年度末見込 65億8,000万円
- ・令和8年度末見込 63億円



## 未来への投資と暮らしを守る予算



### 主な重点施策

#### 【地域産業の振興】

- ・地域商社設立事業 7,287万円
- ・ふるさと納税返礼品取扱事業者支援 2,750万円

- ・くすPayチャージボーナス  
キャンペーン事業 8,139万円
- ・くすPayポイント交付事業 7,922万円

- ・農業生産費高騰対策 2,111万円
- ・新規就農者支援 660万円

#### 【宇宙ビジネスとブランド化】

- ・宇宙ビジネス事業 478万円
- ・椎茸生産安定化事業 800万円

#### 【若者の仕事づくり】

- ・AI・ICT人材育成事業 1,391万円
- ・企業誘致促進費 1,536万円
- ・サテライトオフィス施設管理費 820万円

#### 【子育て支援】

- ・子育て世帯訪問支援 171万円
- ・こども誰でも通園制度 828万円

## 主な質疑応答

### 子育て健康支援課

問 放課後児童クラブ委託料の増額理由は、キャリアアップと処遇改善のことだが、具体的にどのような改善を予定しているのか。

答 処遇改善は今年度も実施していますが、一律9,000円程度の処遇改善を行うものと、新たに来年度からキャリアアップ加算として支援員の経験年数に応じた加算の補助が、国の制度としてあるので、そちらを活用し、経験年数に応じて委託料を加算することを考えています。

### みらい創生課

問 AI・ICT講座について、高校卒業後、町内でそれらの仕事ができると思うが、どのような人材を育てようとしているのか。システムエンジニアなどを想定しているのか。

答 AIを活用する企業が増えていくことが今後想定されます。システムエンジニアというよりも、基礎をしっかりと学び、エクセルの表計算やワード入力などの基礎的なことから、AIをどう活用し、どんなことができるのかを中心に、この講座で学ぶことを想定しています。

問 ふるさと納税の経費の総額はどのくらいか。予算ベースを考えているのか。

答 AIを活用する企業が増えていくことが今後想定されます。システムエンジニアというよりも、基礎をしっかりと学び、エクセルの表計算やワード入力などの基礎的なことから、AIをどう活用し、どんなことができるのかを中心に、この講座で学ぶことを想定しています。

問 今年度の最終目標は6億6,500万円を想定しており、経費率が47%程度で推移しています。委託している業者にて経費も50%以内で収まるよう計算しています。

### 農林課

問 農地利用効率化等支援交付金事業は、将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現ということであるが、どのようなことを目指すのか。

答 将来、担い手が不足する見込みであるため、コンバインやトラクター等の機械を導入して規模を拡大し、地域の農地を守っていくという方に対して支援するものです。

### 商工観光政策課

問 今回、くすPayポイント交付事業で19歳以上の方全員に配るとなると、今まで使っていない高齢者の方なども使える機会があるが、スマホで利用するというのは難しいのではないのか。

答 加盟店舗と話していかなければなりません。カードでも使えるようなサービスプランをこの事業の中で行っていくと考えています。

# 令和7年度一般会計・特別会計補正

令和8年第1回玖珠町議会臨時会において、予算常任委員会に審査の付託を受けました議案1件について、1月15日、執行部出席のもと審査した結果を報告します。

## 1 補正額

令和7年度補正予算(第6号)の概要  
**7,862万円の増額**(補正後の総額114億5,937万3千円)

【財源内訳】国庫支出金 7,861万9千円 繰入金 1千円



## 2 内容

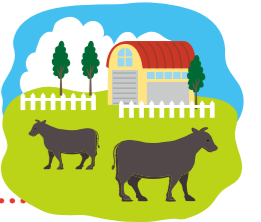
### ・物価高対応子育て応援手当事業 5,331万7千円

物価高の影響が長期化し、その影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、0歳から18歳までのこどもに1人あたり3万円を支給する。(国の子育て応援手当2万円に町独自事業として1万円上乗せ)

### ・畜産業物価高騰対策事業 2,530万3千円

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、飼料価格高騰等により経営に影響を受けている畜産事業者に飼料費の助成を行う。

【補助率】飼料高騰額11.0円/kg × 年間飼料給与量 × 頭数 × 1/2  
(1事業者あたり上限300万円)



令和8年第1回玖珠町議会定例会において、予算常任委員会に審査の付託を受けました令和7年度一般会計補正予算について、3月9日に審査した結果を報告します。

### ●今回の補正(第8号)は、主に年度末決算見込みによるもので全体で3,431万円が減額されました。

### ●残念ながら減額となった主なもの(国の予算減による)

災害復旧費	・農林水産災害復旧費	.....△1,698万円
	・土木施設災害復旧費	.....△3,218万円
土木費	・道路新設改良費ほか	.....△7,201万円

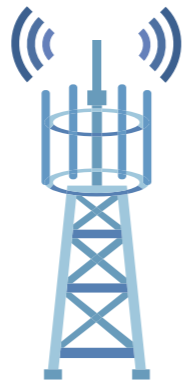
### ●1日も早く増額された主なもの

小学校工事請負費ほか	・小学校管理費	.....6,540万円
トイレ洋式化	残り47.6%・電灯のLED化	残り3校
公共施設等総合管理基金		.....1億5,000万円

くすまちメルサンホール、わらべの館等 公共施設の老朽化対策のための積立金です。



**玖珠町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例及び玖珠町移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例**  
携帯電話不感地域の解消を図るため、通信事業者が参画し易い様に、使用料及び分担金を免除すること。



**玖珠町営土地改良事業及び災害復旧事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正**

町営土地改良事業の施工に係る受益者から徴収すべき分担金について、施行時の分担率及びその法的性質を明確にするもの。

**玖珠町農地及び農業用施設災害復旧事業分担金徴収条例の制定**

農地及び農業用施設の災害復旧事業の施行に係る受益者から徴収すべき分担金について、施行時の分担率及びその法的性質を明確にするもの。

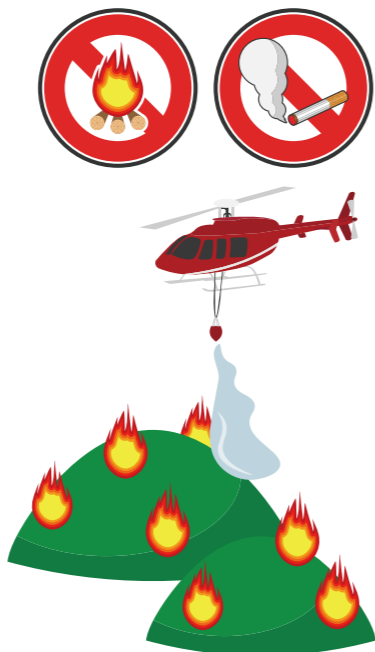
### 主な質疑応答

問 死骸の処理は心身に負担がかかる仕事なので、せめて1,000円か1,500円ぐらいにすべきではないか？  
担当の職員は非常に苦痛を感じていると思われる。金額の見直しを検討してもらえないか。

答 職員団体と新年度4月1日より適用させるための協議を行いました。今後も調査研究を進め、協議していきたいと考えています。

**玖珠町職員の特殊勤務手当に関する条例**  
犬猫等動物の死骸の処理に従事する職員に対する特殊勤務手当について、業務の特殊性及び他市町村の支給状況を鑑み、改定を行う。現行3000円から5000円に改定。

**和解及び損害賠償額の決定**  
相手方に対し損害賠償額が決定したので議決を求めるもの。

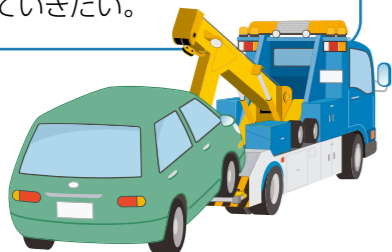


**玖珠町火入れに関する条例**  
大船渡市林野火災の教訓を踏まえた林野火災対策を推進するため、林野火災注意報又は林野火災警報が発令された際の対応を明記する。

### 主な質疑応答

問 相手方は事業用特殊車両となるため、代車費用やレッカー代が必要となるが内訳が明記されていない。この議案では修理代が高額に見える。内訳を明記した方が良いのでは？

答 今後については事業の概要など明記するか検討していきたい。



辺地に係る  
総合整備計画策定

令和8年度から12年度までの5か年を計画期間とする辺地に係る総合整備計画を策定する。携帯電話の電波不感地域への解消、農道・林道の整備、自治公民館の整備、飲料水確保等の向上を図る。

〈地域〉  
日出生辺地  
片草辺地  
大野原辺地  
鏡辺地  
古後辺地  
山浦辺地



玖珠町過疎地域持続的発展  
計画の一部変更

財政上の特別措置を活用して施策の総合的かつ計画的な推進を図る。

主な質疑応答

問 どんどん過疎化する中で維持するための色々な施策があると思うが地域を残すためにしなければならぬことがあれば教えてほしい。

答 人口減少対策に向かって移住定住対策や、人材育成に重点を置くことが今後の施策の展開になるのではと考えています。

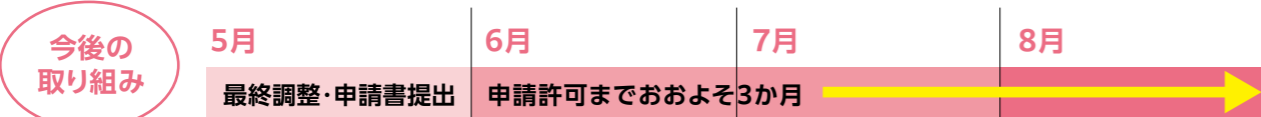
国の予算をふまえ7月に要望書を提出

1、日出生台演習場内採草対策進む

◎演習場内採草・放牧に関する代替地について

地元関係者との意見交換の中で、強く要望された9月から10月の採草期間の確保を、防衛省・九州防衛局・陸上自衛隊西部方面総監部に対し要請を行なったところです。

このような中、地元関係者の負担軽減をはかるため、防衛省が所管する周辺財産を代替りの土地として借りられるよう、九州防衛局と事務的な協議を進めています。



2、令和8年度訓練計画公表

◎令和8年度事業計画について

令和8年1月23日付けで防衛省から、在沖米海兵隊「沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施」について、令和8年度の訓練計画が公表されました。 日出生台演習場(翌年1月~3月)

3、支援事業活用

◎日出生台演習場周辺の地域活性化支援事業補助金の活用状況について

演習場周辺の活性化を目的とした補助金が、各地区で活用されています。

申請実績

7件(予算現額1,590,000円/支出額1,551,000円/予算残額39,000円)

4、防衛省等への要請時期について

九州防衛局等への要請を国の予算要求前の7月までに実施することを確認しました。

視察研修報告

1月27日から28日にかけて兵庫県神河町議会と太子町議会へ視察研修を行いました。

神河町議会では議会を知ってもらい関心を持ってもらうため、**議会あり方ゼミナール**を開催し、住民と議員が一緒に勉強会を行っていました。

太子町議会では住民と議員が自由に意見交換ができる場として**カフェトーク**を開催し、リラックスした雰囲気の中で話し合いが行われていました。

両町とも議員の熱意を感じる研修となり、充実したものとなりました。



議員発議

発議 議員の費用弁償を改正

議会改革の一環として議員の費用弁償のあり方を検討する中、国家公務員等の旅費に関する法律の一部改正等により玖珠町職員の旅費の改正が実施されることや、県内町村の状況を鑑み、玖珠町議会議員の費用弁償を改正するものです。

採決結果 全会一致で可決すべきものと決しました

改正後		旅費の種類	支給額
		鉄道賃	実費
		船賃	実費
		航空賃	実費
		その他の交通費	実費
		自家用自動車	実費又は1kmにつき40円
		駐車場料金	その他実費を含む
		宿泊費	国家公務員等の旅費支給規定別表第2 宿泊費基準を適用
宿泊手当 (1夜につき)	九州内	2,400円	
	九州外	4,400円	

※九州外は沖縄を含む

玖珠町介護保険条例の一部改正

令和8年度の介護保険料の算定において、令和7年度は住民税が非課税であった人が、令和8年度に課税対象となった場合に算定区分が変わり、意図せず介護保険料が増額する被保険者を救済するため。

主な質疑応答

問 総合計画は町の最上位の計画であるが、前期の5年間から、今回後期の5年間につながる見直しはあったのか。

答 総合行政審議会、議会からも地域の在り方について意見をいただいたところを重点的に、計画の見直しと変更を行いました。今後5年間を見据えたうえでリニューアルした形での計画としています。

玖珠町第6次総合計画  
後期基本計画の策定

令和3年に策定した第6次総合計画における前期基本計画が終了するので、令和8年度から令和12年度までの5か年の後期基本計画を策定する。



主な質疑応答

問 利用制限があるが柔軟に対応できるのか。

答 月10時間というかなり短い時間になっています。それ以上は、一時保育などの別事業で受け入れることは可能です。

問 受ける事業者の体制は。

答 事業者は4園です。今あるこども園等の空き定員の枠を利用して行うものです。実施に向け準備中です。



こども誰でも通園制度

こども誰でも通園制度が  
スタート

こども誰でも通園制度の創設により乳幼児等のための支援給付が4月から給付されることに伴い、事業者が給付を受けるために町から子ども子育て支援法に基づく確認を受ける基準を定める。

※一般質問とは、議員がその町の行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

### 議員の胸の内

3期目の町長に町づくりの具体的な思いを聞きたい。

宿利 忠明 議員

## 町政運営の基本方針



**問** 集落支援員の役割と配置体制の見直しについて伺う。

**答** **みらい創生課長**

地域の人口規模や支援ニーズ、地理的条件などを考慮して、地域ごとの優先課題に応じた支援が行える体制を整えます。

**問** 地元出身の若者に対して、居住環境などの優遇制度について伺う。

**答** **町長**

町が準備する分譲住宅地を格安で提供することや、マイホーム

ムを建てる時の住宅ローンの優遇制度等を検討しています。

**問** 空き家の流通促進包括連携協定を結んだが、優遇制度の中に利用できないか伺う。

**答** **町長**

民間の会社と手を組んだのも、そういった要因もあります。空き家に都市から帰ってきて住む方の優遇も含めてしっかりと創っていきます。

### 欧州教育視察から

**問** 欧州3ヶ国を教育視察した目的を伺う。

**答** **教育長**

デジタル化の先にある「人間中心の教育」への回帰と言う世界的な転換点を確かめる必要があると感じたからです。

**問** 視察を受けて、玖珠町の教育に何をとり入れたいのか伺う。

**答** **教育長**

一つは、デジタルの即応性、アナログの符号化、この両輪の「ハイブリットデザインガイドライン」の策定。

もうひとつは、教育の質を支える土壌、教員の幸せを作る支援作り。

そして、久留島武彦哲学と玖珠バードモデルです。これらを通して子どもたちが大人になったとき「この玖珠町で育つてよかった。生きていて良かった」と心から思える町を創る教育をめざします。



心のOS：久留島武彦哲学の現代化



駆動モデル：玖珠・鳥のモデル

※お持ちのスマートフォンやタブレットから、QRコードを読み込むと各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます

## ヤングケアラーの実態は

高倉 真由美 議員

**問** ヤングケアラーの定義の認識と、現在の課題は。

**答** **子育て健康支援課長**

定義は、家族の介護、日常生活上のきょうだいの世話、障がいや病気などがある家族に代わり行う家事や労働、家族の感情面のサポートなど多岐にわたります。課題については、お手伝いと、ヤングケアラーの状況の境界線が不明確、家庭内のデリケートな問題であること、本人や家族に自覚が無いことといったケースもあり、支援が必要であっても表面化しにくい事が課題です。

**問** 町内の実態は。

**答** **子育て健康支援課長**

町内の小学5年生と中学2年生とその保護者に対し無記名でアンケートを実施し、「家族に世話している人がいる」と回答した人が小学生では30%、中学生では13%程度いました。「いる」と答えた人の中で自身がヤングケアラーに当てはまると回答したのは、小学生で12%、中学生はゼロでした。しかし、「当てはまらない」「分からな」と回答した約半数の児童・生徒についても、本人の気づき

も含めて対応が必要と考えています。

**問** 町の相談・支援体制の状況は。

**答** **子育て健康支援課長**

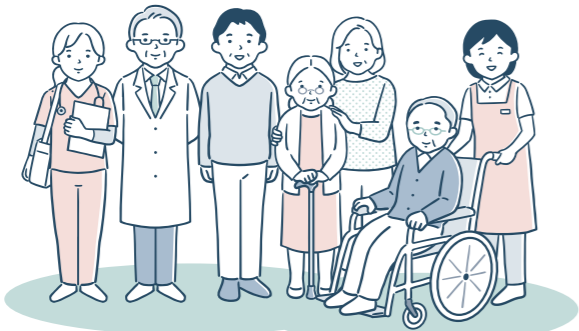
課題やその特徴を広く知ってもらうため、こども家庭センターが周知啓発を行っています。ヤングケアラーを早期に把握した上で、福祉、介護、医療、教育等の様々な分野と連携しながら気づきを促すことが必要です。新年度より子育て世帯訪問事業を、新たに計画しています。訪問支援員が、家族が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事、子育て等の支援を実施します。

**問** 学校現場と福祉現場との連携の状況は。

**答** **教育政策課指導企画監**

昨年9月に校長に対してヤングケアラー研修会を行い、学校でも教職員の研修会を実施し、早期発見に向け、意識の向上を図るとともに相談窓口を設置しています。こども家庭相談員と、学校配置のスクールソーシャルワーカーが連携して家庭状況が気になる児童・生徒に対し家庭訪問などを行っています。児童虐待も含め学校で児童・生徒の様子や気になる事があれば、教育委員会に連絡するように周

### 【その他の質問】 こどもとメディアについて



**問** 知を行っている事が今後大事になってくると考えています。

**答** **子育て健康支援課長**

ケースに応じた障がい福祉サービス、介護サービス等と連携に加え、今回、医療機関とも連携して、玖珠郡医師会での出前講座を行います。今後においても国・県が行う研修会等に積極的に参加し、想定される関係機関にはケースに応じて必要な連携と情報提供や共有を行います。

### 議員の胸の内

ヤングケアラーの事を住民にもっと理解してもらいたいなあ。



議員の胸の内

高齢者の移動手手段の確保は重要な課題となっています。運転免許返納は良い手段です。しかし、車がないと動きが取れないという意見が圧倒的です。

かわしま こうじ  
河島 公司 議員

令和8年度施政方針を問う

問 玖珠町の現状と課題を町長はどう捉えているのか。

町長 現状は、地域を支える若者の不在や、分野別を支えるマンパワーの不足が著しく悪化しているのではと感じています。人口減少対策や若者不在の解消を中心に取り組んでいきたいと考えています。

問 サテライトオフィスの企業進出による効果を伺う。

町長 従業員の地元雇用、町への経済効果で、進出企業7社で約40名

問 の雇用が出来たところです。デジタル地域通貨の経済効果をどう感じているのか伺う。

町長 町内での消費喚起を促し経済循環に繋げる仕組みで、間違いなく町内店舗に一定の効果が出ています。くす天空の輝きの販売がスタートしたが、どう感じているのか伺う。

町長 販売実績はまだ十分ではないと思っています。ニユース性が高まったため、玖珠米の人氣が浮



地域公共交通の早急な対応を

上しているのは間違いありません。販路確保に向けて全力を挙げていきます。

地域公共交通確保事業（事業費と利用者数）  
令和元年度と令和6年度の実績値比較

運行形態	運行収支（運行経費－運行収入）			利用者数		
	令和元年度	令和6年度	比較	令和元年度	令和6年度	比較
まちなか循環バス	▲618万円	▲672万円	54万円赤字増	10,693人	8,933人	1,760人減
ふれあい福祉バス	▲1,333万円	▲1,797万円	464万円赤字増	8,414人	5,019人	3,395人減
小型乗合バス	▲130万円	▲198万円	68万円赤字増	929人	330人	599人減



まちなか循環バス

問 実績値報告のとおり、事業費については赤字が全てで増えて、利用者は全てで減っていることから、対策を考える時期が来ている。提案として、本当に利用したい人が何処にどれだけ居るのか住民アンケートをすべきだが実施できないか伺う。

答 みらい創生課長 地域の実情やニーズを的確に把握するためのアンケート調査を実施して、今後の公共交通網の計画を検討したいと考えます。

問 【その他の質問】  
玖珠地区の活性化について

問 続・DV・生活困難者への支援を行うっており、様々な課題に対して丁寧な寄り添いながら、トータルサポートを行ってまいります。



交通安全教室の開催、チラシ等の配布で自転車利用のマナーの向上を呼びかけています。啓発についても、交通指導員が交通安全運動の期間中に街頭に立ち、歩行者や自転車運転者への交通ルールの指導・助言を行っています。又、高齢者・小学校・こども園・中学校では警察署職員が交通ルールの指導、美山高校については青切符の適用が16才以上となることから、大分県警察本部のインターネット教材を使って、全校生徒を対象に自転車の交通ルールを学ぶことになっていきます。

自転車の交通安全対策は？

問 道路交通法が改正され、今年4月から自転車の交通反則通告制度「青切符」が導入される。町民への周知の取り組みについて伺う。

答 住民課長 16才以上の自転車運転者に対して、反則金が科されます。昨年玖珠郡内では32件の交通事故が発生し、一件が町内の自転車による事故が報告されています。本町は、ホームページ・交



問 【その他の質問】  
町長の基本姿勢について伺う  
8年間の総括と今後の決意

離婚後の共同親権（民法）の改正は？

はた ときお  
秦 時雄 議員

問 離婚後の共同親権の見直しに関する規定がどの様に変更か、行政はどう対応しているのか伺う。

答 子育て健康支援課長 父母の離婚が子の養育に与える様々な影響と、子の養育の在り方が多様化する中で、離婚後においても父母双方が適切な形で子を養育する責任を果たすことが重要であり課題となっております。今回の改正では、離婚関係の有無にかかわらず、父母が子に対して負う責務の明確化と、親権が子どもの利益のため

に行使されなければならぬものであることを明確にしたものです。具体的には新たな共同親権の導入と、共同親権を選択した場合でも親権の単独行使が可能になり明確化されました。「法定養育費制度」子1人当たり月額2万円の新設や、養育費の未払いに対して、債権の差押え優先権が付与されました。本町では住民課の窓口で離婚届をお渡しする際、今回の改正が分かりやすく記載されたパンフレットの配布、「こども家庭センター」では離婚後の各種手

議員の胸の内

共同親権（民法）の改正で親子関係はどうなるのか聞きたい。



議員の胸の内  
行政でも経営感覚が必要では？

衛藤 和敏 議員

## 令和8年度施政方針について

サテライトオフィス事業  
約1億円の赤字  
効果検証と判断基準を求める

問 サテライトオフィス事業について、これまでの投資額に対する雇用創出や経済効果などの費用対効果の分析は行っているのか。使用料、雇用者数、企業の納税額など数値化できる指標での分析が必要ではないか。また、今後の事業継続を何を基準に判断するのか伺う。

答 商工観光政策課長  
令和元年度から6年度までの施

設整備・運営費は約1億4,076万円。補助金を除くと、使用料収入などを差し引き約1億251万円のマイナスとなっております。ただし、交流人口の増加、地域事業者との連携、IT企業や新しい業種の進出など、金額だけでは測れない効果があると認識しています。県内でもサテライトオフィスが満室で運営されているのは玖珠町のみであり、一定の成果と考えています。今後は企業と地域の連携を深め、効果の検証と情報発信を行います。

財政調整基金  
最低4億円の確保が必要

問 一般会計当初予算は114億円で過去最大となり、財政調整基金も今後減少が見込まれている。町長は基金残高がどの水準を下回ると危険と考えているのか伺う。

答 町長  
町長就任時は約8億円前後で推移しており、できるだけこの水準を維持するよう財政運営に努めています。令和8年度末は約6億5,000万円の見込みとなっております。財政調整基金は緊急時の財源として確保することが重要です。過去には豪雨災害の際、約3億円の支出が必要となった経験があるため、最低でも4億円程度は確保しておく必要があると考えています。

問 令和8年度予算は前年度比7.2%増の過去最大規模となる一方、経常収支比率は94.2%（令和5年度）から95.3%（令和6年度）へ悪化している。成長戦略と財政健全化をどう両立させるのか伺う。

答 町長  
人口減少や少子高齢化が進む中、何もしなければ地域の衰退は進むため、必要な施策は進める必要があります。事業実施にあたっては国・県の補助金の確保や自走できる仕組みづくりを進め、財政負担を抑えます。また、ふるさと納税などは短期事業に活用し、経常経費は経常収支比率を見ながら管理します。ソフト事業を中心に成長戦略と財政健全化のバランスを取りながら進めていきます。

成長戦略と財政健全化  
バランス重視の行政運営

問 令和8年度予算は前年度比7.2%増の過去最大規模となる一方、経常収支比率は94.2%（令和5年度）から95.3%（令和6年度）へ悪化している。成長戦略と財政健全化をどう両立させるのか伺う。



旧森中跡地のサテライトオフィス

工業団地等の課題は

問 玖珠工業団地、玖珠中学校跡地活用について施政方針の中にないがどのように考えているのか伺う。

答 町長  
工業団地についてはご指摘のとおり残念ながら10ヘクタールという大きい面積で分譲は行わないという県の方針の為、これまで関心を示した企業がありません。町としても独自に営業活動しながら、また県とも相談しながら入居できるように8年度も強化していきます。

のイメージづくりに対するブランドを考えていきます。



自慢の「くす天空の輝き」

問 くすまちブランドの構築について伺う。玖珠の自然豊かな土壌で毎年特A米を獲得しているが、「くす天空の輝き」だけが輝き、これまでの玖珠米も大事にしてほしいが考えを伺う。

答 みらい創生課長  
当然「くす天空の輝き」自体をPRしていろんな所で売っていく戦略もありますが、同時に玖珠米自体が美味しいという周知にも効果があると思われるので

## 令和7年度施政方針の検証と令和8年度施政方針を問う

河野 博文 議員

議員の胸の内

美味しい玖珠米のPRが、足りていないのでは？



問 集落支援員の役割と配置体制の見直しについて具体的な考えを伺う。

答 みらい創生課長  
集落支援員の見直しについては令和9年度からということでは検討を進めています。内容の精査と住民の皆様が何を望んでいるか把握し今年度中に練っていきたいと考えています。

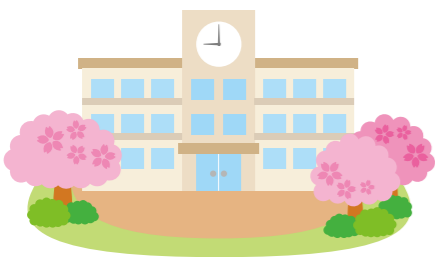
問 令和の童話の里づくり構想を再構築することについて伺う。

答 教育課長  
童話の里づくり推進室がハード面、ソフト面全体で取り組んでおり、童話祭も含めて総合的にするというところですが、持続可能にするため学校教育と社会教育が連携し、久留島武彦先生の教えを浸透させていきます。また俳句大会や創作童話、語りべ大会等に子どもたちが参加してくれています。学校教育にも組み込み、持続可能な次世代を担うこともたちの育成を考えていきます。

問 予算編成の重点事業について伺う。

答 町長  
計上した事業はすべてやりたいが、特に人口減少と若者流出食

い止めでIT講座や玖珠町全体



議員の胸の内

人口減少対策については、10年前から力を入れるべきと言ってきたが、首長が変わってもパンチ力のある政策がない。

まつした よしのり  
松下 善法 議員



町の大規模林野火災対策は？

問 昨年2月、岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災をはじめ、岡山県、愛媛県と全国各地で発生した大規模林野火災では、気候変動の影響による乾燥や強風が被害拡大の一因となった。最近では11月18日、大分市の佐賀関で4万8,900平方メートル、187棟を焼失。お悔やみとお見舞いを申し上げ、早期の復興を祈るばかりだ。今年、全国で運用が開始された林野火災注意報・警報制度について、町としての認識と位置づけを伺う。

答

基地・防災対策課長 令和7年2月に岩手県大船渡市で発生しました大規模な林野火災を受け、消防庁は、林野火災注意報・警報を新設する必要があることから、火災予防条例の一部を改正する通知が出されました。日田玖珠広域消防組合火災予防条例が改定され、令和8年1月1日より運用開始となっています。発令期間については、林野火災の発生が多くなる1月から5月が基本となっております。発令につきましても、日

田玖珠広域消防組合が気象データ、降水量や乾燥注意報の発令等を確認し、発令指標に該当する場合には発令を行い、町へ連絡をもらうようになっています。注意報・警報発令時には、住民への速やかな周知を行うことにより火災予防強化となり、火災発生被害を少しでも抑えることができるよう努めたかと考えています。



人口減少と担い手不足を問う

問 本町においては、若年層の流出と担い手不足が地域経済、消防団、自治会運営、そして行政そのものの持続性に大きな影響を与えつつある。この流れをやむを得ないものと受け止めるのか、それとも食い止め緩和するために挑戦するかを含めて伺う。

答

町長 地域の課題は先ほど議員の指摘のように、少子高齢化や人口減少、そしてまた、若い方々が流出をしていくことによつて、玖珠町での暮らしを支えてくださる年代層が非常に少なくなったということ、いろいろな課題が今クローズアップされています。そういったことから、人口の分析をし、それをどう政策に生かしていくかということは、当然のことだと思っております。あがいてあがいてあがくしかないかなというふうに思っています。



問 地籍には「所有者、地番、地目、境界、面積」が記載されているが、必ずしも正確でなく境界トラブルや所有者の大切な権利が保護されにくいなど様々な課題がある。しかし、現状の地籍調査事務のスピードでは、100年を超える年数が必要となり、その間、不在地主の増加、土地承継者の不明、境界を知る人の減少により境界確認が困難になることが懸念される。地籍調査の迅速化は町の重要な

答

課題であり、今後の地籍調査充実に対する町の姿勢を伺う。 町長 地籍調査が様々な要因から進まないという実態から、各種事業や土地活用の遅れ、隣接土地所有間のトラブルなど、私たちが生活するうえでの多様な障害となっていると感じています。DX化等最新技術・システムの活用、担当職場の人員配置等についても工夫し、事務の迅速化を講じていきたいと思っています。



地籍調査の様子

すき焼きの日の制定を

問 全国の自治体の中には、町の魅力発信として地域グルメ、まちづくり、観光、地域資源等をアピールする「何々の日」が制定されている。本町でも、久留島イズムの普及啓発と、町の情報発信にも寄与するとの思いから、久留島先生の誕生日6月19日を「玖珠町すき焼きの日」とし、その日は、家族で、グループで、個人で、すき焼きを囲んで楽しく過ごす日、食材を販売する肉屋さん、八百屋さんなどの理解と協力も得ることで町の一体感が醸成で

答

町長 きるのではと思う。制定について考えを伺う。 町長 久留島先生の好物であったすき焼きは有志の方のご厚意などで町の学校給食に出すなどの取り組みが進んでいます。久留島先生の誕生日ではなく白菜やネギなど食材の旬である9月から3月が望ましいと思いますので、時期を含めて関係者の皆さんと町独自の記念日として「玖珠町すき焼きの日」制定に向け検討したいと思っています。



【その他の質問】  
・施政方針について  
・老障介護について

議員の胸の内

過疎化進行等から不在地主、土地承継者の不明から境界確認等が困難となりつつあり、地籍調査の迅速化が重要だと考えるが。

よこやま ひろやす  
横山 弘康 議員



迅速な地籍調査を

# “ガンバリよるばい”

このコーナーは町の次代を担う子どもたちが集う「わたしたちの学校」を紹介します!



## 「わたしたちの学校紹介」くす若草小中学校



### 学校概要

#### 玖珠町立学びの多様化学校

2024年4月開校

公立義務教育学校  
(小中一貫校)



- ゆるやかな通学時間、しなやかな学習スタイル
- 個別の学びで自分のペースで学べる
- 豊かな探究活動で好きを深める
- みんなで作る学校生活



### 学校の教育目標

わたしたちは一人ひとりが「主役」として、安心して自分らしく過ごせる学校をめざします



#### みつける

●一人ひとりが、自分の「好き」や「夢」をみつけ、楽しさを味わいながら、学びに向かっていきます。

#### つながる

●一人ひとりが、多様性を認め合い、つながり合って生きていくことを学んでいきます。

#### ひろげる

●一人ひとりが、楽しみながら挑戦することで、自分の可能性を最大限にひろげていきます。

### 特別な教育課程(独自の教科を新設)

9:30	登校
対話	対話
1~3 時間目	教科の学び・自学
昼休み	昼休み
4時間目	野遊び
5~6 時間目	探究
VT	ボランティアタイム(掃除)
対話	対話
15:45	下校

#### 対話

対話を通じて自分理解・他者理解

#### 野遊び

自然から学び創造性・健やかな心身を育む

#### 探究

協同し創造する力をプロジェクトを通じて学ぶ

#### 教科の学び・自学

自分のペース・学び方で基礎を学ぶ

#### 対話

人はみんな違うことを知る  
“当たり前”をちょっと深く考える  
みんなが安心できる居場所をつくる

#### 野遊び



自然に触れ合う 体力をつける

#### 探究



自分の「好き」「興味」を見つける  
いろんな大人や友だちと協力して進める  
「表現する」「発信する」面白さを知る

教科の中で自分に必要な学習を自分で選んで学習します



一人ひとりのペースで

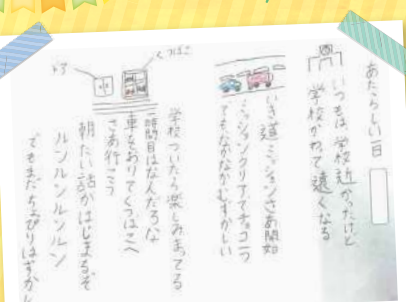
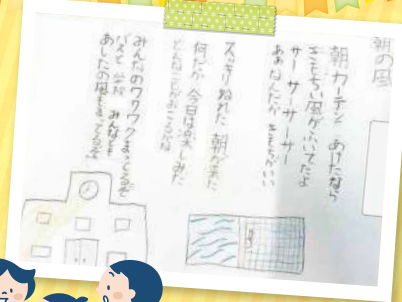
場所も選んで

### ○児童生徒数(2026.3.1時点)

	前期課程						後期課程			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
男子	0	0	0	3	2	0	2	1	5	13
女子	0	1	2	1	3	2	1	1	1	12

## みんなの作品

-Everyone's works-



### 編集後記

あなたは春と言えば何を感じますか? やっぱ桜かな。お花見や入学式かな。それとも旬の食べ物かな。最近では花粉症で感じる人もいます。人それぞれいろんな感じ方があります。玖珠町では春のイベント「日本童話祭」が開催されます。玖珠町の春を満喫してください。

3月の  
議会傍聴者は  
**10人**です。  
議会傍聴に  
お越しく下さい。

### 次回の定例会は6月議会です。

※議会傍聴に来れない方は、動画でもご覧になれます。

#### ■ 議会広報特別委員会

委員長/高倉 真由美

編集長/河島 公司

委員/松下 善法・小幡 幸範・石井 龍文  
高田 修治・秦 時雄

